'13.5.16 東京新聞夕刊

女性有志議員ら抗議

橋下氏発言

社民党の福島瑞穂党首ら野党の女性国会議員の有志十一人が十六日午前、国会内で記者会見し、日本維新の会の橋下徹共同代表の従軍慰安婦発言について「あからさまに差別を容認し、女性のみならず、すべての人間の尊厳を傷つけるものだ」と抗議した。撤回と謝罪を要求している。

＝関連❷面

会見には、福島氏のほか、民主党の蓮舫元行政刷新担当相や菊田真紀子衆院議員、生活の党の森裕子代表代行、共産党の田村智子参院議員、みどりの風の谷岡郁子代表、無所属の糸数慶子参院議員らが出席。

橋下徹氏の発言などに抗議し、記者会見する超党派の女性議員＝16日、東京・永田町の参院議員会館で（千葉一成撮影）

福島氏は橋下氏の発言を「当事者だけでなく、世界の人々への侮辱だ。女性は性の道具ではなく、生身の人間だ」と批判した。

風俗発言を橋下氏反省

元慰安婦と面会へ

日本維新の会共同代表の橋下徹大阪市長は十六日、民放番組で風俗業の活用を在日米軍に求めたことについて「あまりにも国際感覚が足りなかった。反省すべきところがある」と表明した。同時に「法律で認められた風俗業のことを言っており、売買春をすすめているわけではない」とした上で「米国の風俗文化の認識が足りなかった。表現不足だった」と釈明した。

米政府を含め内外で高まる批判を受け、軌道修正を図った形だ。

また大阪市は十六日、橋下氏が二十四日、韓国人の元従軍慰安婦の女性二人と市役所で面会することを明らかにした。約三十分間意見交換し、報道陣に公開する。

橋下氏は番組では「米軍には（兵士の）性的エネルギーのコントロールを議論してほしい。（風俗業活用は）方法の一つだ」と、正式に撤回はしなかった。市役所では記者団に「『活用』ではなく真剣に考えてほしいと言った」と述べた。

旧日本軍の従軍慰安婦に関し、番組で「容認はしていない。『当時は必要と考えられていた』と言っただけだ」とあらためて強調。他国でも慰安婦と同じような制度があったとして「日本だけが批判されるのはおかしい」と重ねて主張した。

参院選への影響については「選挙を意識して発言したことはない。不利になるのは百も承知だった」と語った。一方で「党内でまとめた意見ではなく、一政治家の思いだ」と述べ、日本維新の党見解ではないとした。